

ている所がまだ何カ所かあるが、上水道管のループ化の進捗状況はどうか。

加西市の水道管はダクタイルがほとんど。神戸等では震災以後S2の耐震管に置き替えられている。価格は高くとも、この投資が将来に役立つよう耐震用S2管の配管に取り組んでどうか。また、災害時にどれほどの水の備蓄があるのか。

A 水道のループ化は、16カ所、延長9,000mを整備計画に基づき進め、昨年度までに約6,000mを実施。残りは5カ所、延長1,600m余りで、下水道関連事業と相互を図り順次進めていきます。

耐震用の水道管は、特に地震のおきやすい箇所を使用しています。費用は、耐震用水管渠使用の場合、通常の1.5倍、一般部の水道管では、通常の1.2倍程度を要し、近隣の市町も積極的な耐震管への更新は行っていません。20年度に下水道事業が完了すると、残りV.P管が約20キロ、石綿管が13キロ、合計30キロ余りで、事業費は20億円を超える予定。財政状況等を勘案し、

計画的に進めていきます。

水の備蓄は、北条の市街地に100トンの防火水槽兼飲料水があり、北条市街地の住民が3日間過ごせます。消防の応援協定等により、半日もすれば、他市の方から食料等が入ってくると思えます。

子育て支援に関連して、幼稚園休園規程について

Q 幼稚園構想、新学校構想の中で、幼稚園や保育園をどうするのか、行政すらまだ焦点が定まっているとは言えない。このような段階で、15人以下は幼稚園の休園の対象とすることで、賞金だけでなく下里、宇仁、日吉、西在田、各地域に不安が広がっている。

行政の構想が市民に受け入れられて、しっかり施設として形ができるまで、現在の園を維持し、安心して子育てできる体制を守るべきで幼稚園休園規程の廃止を求めます。

A 幼稚園の休園問題の根本的な原因は、26園体制に400人足らずの幼児がいるところです。これをぜひ議会の方でも考えをいた

だきたい。

指摘のように、預かり保育つきの幼稚園を置いていけば、必ず希望者も増え継続可能だと思います。ただし、現行の体制の中で、果たしてそれが市の施策としてよいものかどうか、ぜひお考えをいただきたいと思います。やはり去年私らがお互いに決めた弾力条項を1年経つか経たないうちに、またまる

で違ったものになってしまうという、撤回、撤回になるのはいかななものかと思えますし、相対的な過剰状態を解消していくことにごそ知恵を絞っていかなければいけないと思えます。

加西病院の経営危機

Q 加西病院の医業収入の5億数千円減少は、今年度になって初めて起こったことは明白で、歴代市長等の責任ではなく、医師の神経を逆なでするような、給料を阪神間よりも高い給料を払ってますとかを平気で言う市長の発言や不適切な措置により起っており、まさに現市長に責任の一端があると思われるが、どう考えるか。何もしな

い

いで病院が成り立ったわけではない。そういう努力をしているのか。

A 病院や下水道事業を筆頭に、加西市は非常に危機的な状況と認識しています。私の発言で病院の医師が減ったとは、私は考えていません。なぜそういう言い方をされるのか、とても心外です。

私は、加西市民に必要な地域の医療サービスを守っていくと全力を挙げて取り組むことを病院フォーラムでも申し上げました。私が医師の神経を逆なですって、それが原因で医師がいなくなったというような事実は全くございません。なぜなら、私には医師の人事権がないのです。医師は私の方、市長に人事権があるとは思ってないと思えます。人材供給は大学にいま依存しています。それから、日本の医療制度、あるいは保険制度のゆがみというのは、国が定めたものです。

宇仁小学校の建設問題

Q 11月16日地元で新学校構想を含めた説明

会に、教育長のみ出席されたのはなぜか。

現在の規模に応じた学校でよいと、たびたび校区の方々が申されているにもかかわらず、夢のような話で皆さん驚いていた。今後のあり方についてどう考えるか。

この新学校構想では予算と土地の面積はどれくらいかかるか。費用が30数億、土地も4倍要るとも聞く。これだけお金が苦しいときに、現状の小学校なら5億か6億でできると思う。なぜ30億の債務を負ってやらないといけないのか。

A 市の説明会を公式にしたことはありません。先般、神戸大学の藤岡助教授を地元が招かれ、自主的に開かれた勉強会に教育長も呼ばれました。

対立するところ、あるいは争点よりは一致できるところの方が多く考えます。こういう考え方もあり得るのだという柔軟性をもって、ぜひ話し合っていたきたい。今のよう